

第49回近畿地区高等学校PTA 連合会大会京都大会へ行ってきました

令和6年7月15日（月）海の日、校長先生と本部役員6名で国立京都国際会館にて開催の近畿地区高等学校PTA 連合会大会京都大会へ行ってきました。当日は祇園祭で地下鉄が人で混雑する中、何とか全員無事に乗り込み目的地に到着できました。

今回のテーマは「不易流行～変えてはいけないこと、変わらなくてはならないこと～」です。



まずは京都市立日吉ヶ丘高等学校ダンス部のパフォーマンスを楽しみました。



次に、ポストコロナ禍におけるPTA活動という話を聞き、抱える課題や今後の方向性について聴き、北須磨高校PTAもこれから急激に変化が起きたとしても、子供への愛情等の変えてはいけないことは全員で守らなければいけないと感じました。

記念講演として、ピアニストの辻井伸行様の母、辻井いつ子様から「子どもの才能の見つけ方、伸ばし方」についてお話を聴きましたのでご紹介します。出産してまもなく息子さんが盲目であることを告げられて絶望する日々の中、音楽の才能を見出し、それを信じて行動し続けたことに感銘を受けました。世界のピアノコンクールで優勝できたことは、お母様の前向きなお声かけ無しでは実現しなかったかもしれない考えると、我々も子供達へ「大丈夫」「きっとできるよ」と声をかけていく重要性に気付かされました。

最後に次年度開催地挨拶として、青のポロシャツを着た兵庫県代表メンバーからの“JOY

